

更新日:2019年10月15日

調査部:船木弥和子

ブラジル:第16次ライセンスラウンド、プレソルトエリア周辺鉱区に関心集中

(ANP website, Platts Oilgram News, International Oil Daily, Business News Americas 他)

ANP(ブラジル国家石油庁)は、2019年10月10日に5堆積盆地の36鉱区を対象に第16次ライセンスラウンドを実施した。メジャー企業を中心に11社が入札、10社がCampos BasinとSantos Basinのプレソルトエリア周辺の12鉱区を落札した。サインボーナスは合計で89億2,000万リアル(22億ドル)となった。メジャー企業を中心にプレソルトエリアの周辺鉱区に札を入れるという傾向は第14次、第15次ライセンスラウンドと変わりがなく、入札を行った企業の顔ぶれにも大きな変化はなかった。

ANP(ブラジル国家石油庁)は、2019年10月10日に5堆積盆地の36鉱区(総面積29,300km²)を対象に第16次ライセンスラウンドを実施した。11社が入札、10社がCampos BasinとSantos Basinのプレソルトエリア周辺の12鉱区(11,800km²)を落札した(表1)。サインボーナスは合計で89億2,000万リアル(22億ドル)となり、探鉱の第1フェーズだけで4億ドル以上が投じられる見通しである。2020年2月14日に契約が締結される予定となっている。

対象鉱区の内訳はCampos Basin13鉱区、Camamu-Almada Basin4鉱区、Jacuípe Basin3鉱区、Pernambuco-Paraíba Basin5鉱区、Santos Basin11鉱区となっていたが、Campos BasinとSantos Basinのプレソルトエリア周辺鉱区に石油会社の関心が集中し、他の堆積盆地の鉱区には札が入らなかった。

最も多く札が入ったのはCampos Basin、C-M-661 Blockで3件の入札があり、C-M-541、C-M-659、C-M-713の3鉱区にはそれぞれ2件ずつ札が入った。その他の鉱区には1件ずつ入札があった。

サインボーナスが最も高額であった鉱区は、Campos Basin、C-M-541 Blockで、Total/Qatar Petroleum/Petronasが40.29億リアル(9.81億ドル)で落札した。同鉱区にはNemo構造が存在し、原始埋蔵量は68.7億bblと推定されている。

入札参加企業は、8月23日にBP、Chevron、CNOOC、Ecopetrol、Equinor、ExxonMobil、Karooon、Petrobras、Qatar Petroleum、Repsol、Shell、Totalの12社が、9月16日にEnauta、Murphy、Petrogal、Petronas、Wintershall Deaの5社が入札に参加することをANPが承認していた。しかし、実際に札を入れたのは表1にあるような9か国11社となり、CNOOC、Murphy等6社は札を入れなかった。

会社別では、ChevronがWintershall、Repsol、Shell、Qatar Petroleumとコンソーシアムを組み、6鉱区に入札、うちS-M-766、C-M-845、C-M-825、C-M-713、C-M-659の4鉱区を落札した。Chevronのス

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

ポークスマンは「ブラジルのプレソルト、ポストソルトには世界規模の石油・ガスの埋蔵があり、Chevron の中南米のポートフォリオの中で重要な位置づけにある。Chevron は深海開発に関する技術、経験に自信を持っており、ブラジルの石油・ガス産業発展に貢献していく」と語った。

2017年の第14次ライセンスラウンド、2018年の第15次ライセンスラウンドで Campos Basin の有望鉱区に複数の入札を行ったものの1鉱区も落札できなかった Total は、C-M-541 Block を今回のライセンスラウンドのサインボーナス最高額で落札した。

一方で、第14次、第15次ライセンスラウンドで多くの鉱区を落札した企業のうち、ExxonMobil は Campos Basin の C-M-479 Block にのみ札を入れ、これを落札、Equinor は3鉱区に札を入れたが、1鉱区も落札できなかった。

国営石油会社では、Petrobras が Campos Basin の2鉱区に入札、1鉱区のみを落札するという通常よりも的を絞った入札を行ったのに対し、Petronas が Campos Basin の4鉱区に札を入れ、3鉱区を落札した。このうち、C-M-661、C-M-715 Block については Petronas が権益100%を保有し、オペレーターを務める。Qatar Petroleum も Shell、Total のパートナーとして Campos Basin の4鉱区に札を入れ、3鉱区を落札した。

表1. 第16次ライセンスラウンド結果

Basin	鉱区	入札企業・コンソーシアム(太字:落札企業・コンソーシアム)	サインボーナス
Campos	C-M-477	Petrobras*(70%) 、BP(30%)	20.45 億リアル
	C-M-541	Total*(40%) 、Petronas(20%)、Qatar Petroleum(40%)	40.29 億リアル
		Petrobras*(80%)、Equinor(20%)	
	C-M-659	Shell*(40%) 、Qatar Petroleum(25%)、Chevron(35%)	7.14 億リアル
		Petronas*(100%)	
	C-M-479	ExxonMobil*(100%)	0.25 億リアル
	C-M-661	Petronas*(100%)	11.16 億リアル
		BP*(70%)、Equinor(30%)	
		Shell*(40%)、Qatar Petroleum(25%)、Chevron(35%)	
	C-M-715	Petronas*(100%)	0.25 億リアル
	C-M-713	Shell*(40%) 、Qatar Petroleum(25%)、Chevron(35%)	5.51 億リアル
		BP*(62.5%)、Equinor(37.5%)	
C-M-795	Repsol*(100%)	0.10 億リアル	
C-M-825	Repsol*(60%) 、Chevron(40%)	0.12 億リアル	
C-M-845	Chevron*(40%) 、Wintershall DEA(20%)、Repsol(40%)	0.27 億リアル	
Santos	S-M-1500	BP*(100%)	3.08 億リアル
	S-M-766	Chevron*(40%) 、Wintershall DEA(20%)、Repsol(40%)	0.54 億リアル
合計			89.2 億リアル

ANPwebsite を基に作成

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

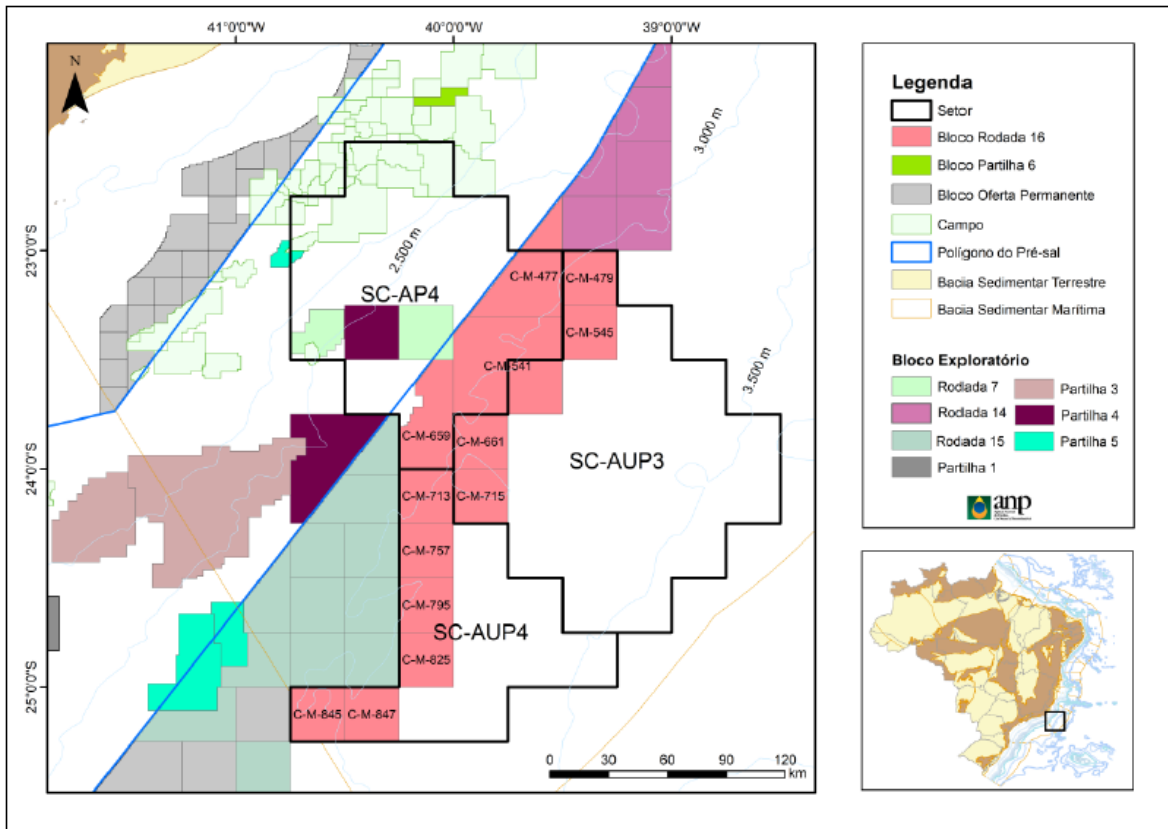


図1.第16次ライセンスラウンド Campos Basin 対象鉱区図

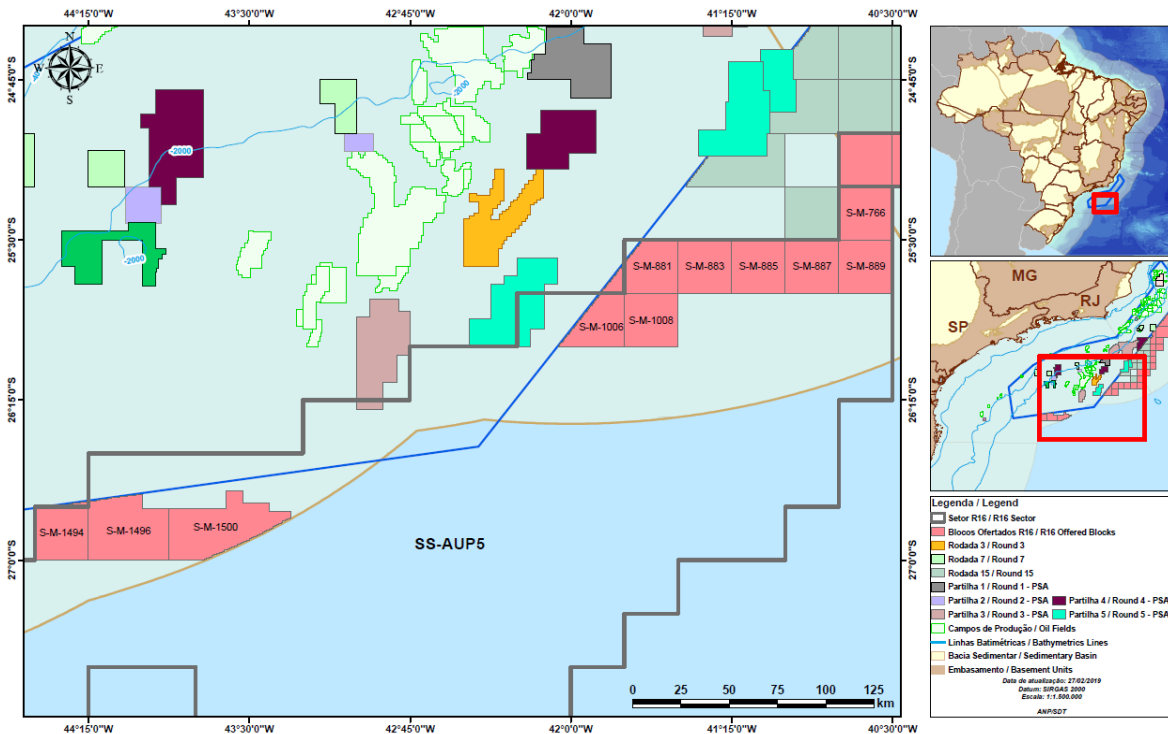


図2.第16次ライセンスラウンド Santos Basin 対象鉱区図

出所: ANP website

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

このように、メジャー企業を中心にプレソルトエリアの周辺鉱区に札を入れるという傾向は第14次、第15次ライセンスラウンドと変わりがなく、入札を行った企業の顔ぶれにも大きな変化はなかった。

ANPは、今回の入札によりRio de Janeiro州やSao Paulo州沖にプラットフォーム3～4基が設置され、40～50万b/dが生産され、1,000億レアルの税収を生むと見込んでいる。

ブラジル政府は11月6日にTransfer of Rights エリアの入札、7日に第6次PSラウンドを実施する計画だ。今回の入札でサインボーナス最高額でC-M-541 Blockを落札したTotalのCEO、Patrick Pouyanne氏はTransfer of Rights エリアの入札には参加しないことを表明している。

表2.ブラジル ライセンスラウンド結果一覧（サインボーナスの単位:百万ドル）

ライセンスラウンド	年月	落札鉱区数	入札企業数	サインボーナス
第1次	1999/6	12	14	181
第2次	2000/6	21	27	260
第3次	2001/6	34	26	243
第4次	2002/6	21	17	34
第5次	2003/8	101	6	9
第6次	2004/8	154	21	221
第7次	2005/10	251	32	472
第9次	2007/11	117	42	1,200
第10次	2008/12	54	23	38
第11次	2013/5	142	39	1,408
第12次	2013/11	72	12	71
第13次	2015/10	37	17	31
第14次	2017/9	37	20	1,200
第15次	2018/3	22	13	2,424
第16次	2019/10	12	11	2,200

出所:ANP website 他を基に作成

(注) 2006年11月に実施された第8次ライセンスラウンドは、入札件数を制限する規則を導入したところ、Petrobrasのエンジニアで組織する労働組合AEPET等が自由競争やPetrobras、政府の利益を害すると反対して裁判所に提訴、裁判所の裁定で開始後に中止された。また、サインボーナスは各時点の為替レートで換算した。

以上

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。